

教育課程柔軟化サキドリ研究校事業について

1 趣旨

多様な個性や特性、背景を有するこどもたちを包摂し、一人ひとりの可能性を輝かせる柔軟な教育課程編成を可能とするため、中央教育審議会における次期学習指導要領改訂に向けた「調整授業時数制度（※）」の創設について検討しています。

全国の教育委員会や学校から、令和7年度まで先行的に取り組んでいる研究開発学校と同様に、柔軟な教育課程の実施に取り組みたいとの声が多数寄せられています。

国は「調整授業時数制度」の導入後、各学校が創意工夫ある教育課程を円滑に編成・実施できるよう、全国各地の教育委員会・学校が教育課程の柔軟化の具体や手法についてある程度のイメージを持ち、知見を蓄積できるよう後押しする仕組みである教育課程柔軟化サキドリ研究校事業を創設しています。

※ 各学校の判断により、各教科の標準授業時数の一部を調整して教育課程を編成することを可能とし、生み出した時数を他教科等や「裁量的な時間」に充当可能とするものです。

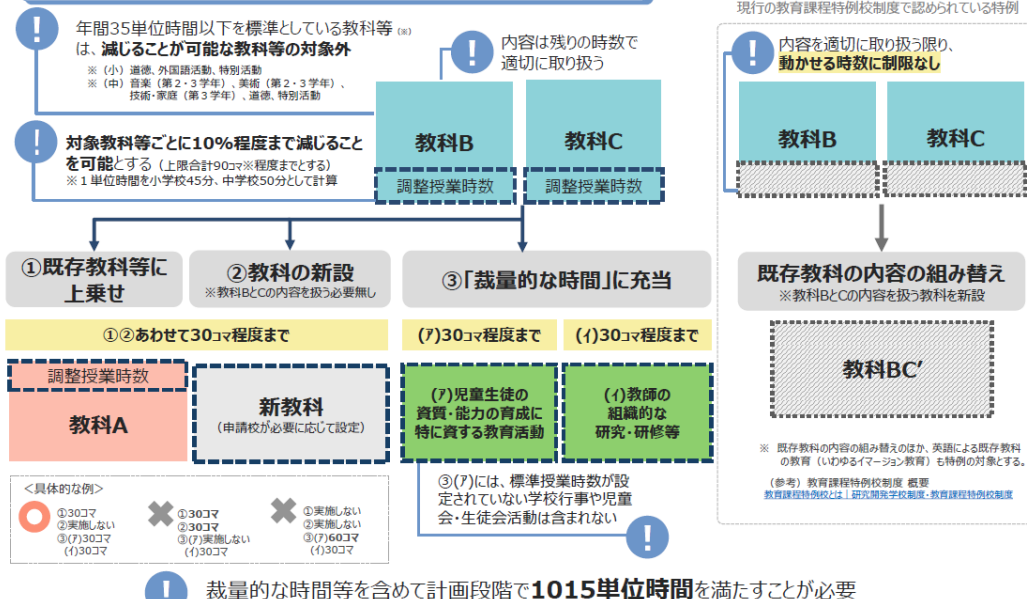
2 事業概要

「調整授業時数制度」の導入後の全国における円滑な制度実施に向け、研究開発学校とは別に、先取りするような形で教育課程を編成・実施し、研究開発を行うことができる学校（サキドリ研究校）を文部科学大臣が指定するものです。

全国の公立小中学校等を対象としており、令和8年度から令和9年度までの2年間で想定しています。

【参考】

サキドリ研究校事業における授業時数調整の仕組み



3 指定までの経過

地区単位でいち早く取り組む学校があれば、全国展開する際のモデルにもなると考えられることから、次期学習指導要領の全面実施に向けた柔軟かつ、特色ある教育課程を進めることをめざし、11月に町モデルプランを提案し、大磯小学校が2月に文部科学省から指定を受けています。

【参考：「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業」研究指定校一覧（県内）】

横須賀市（中学校1）、鎌倉市（小学校1、中学校2）、茅ヶ崎市（中学校1）、
逗子市（中学校1）、三浦市（中学校1、小学校1）、厚木市（小学校2）、
平塚市（小学校1）、秦野市（中学校1、小学校1）、小田原市（小学校1）、
大磯町（小学校1）

4 大磯小学校での取組内容

① 既存教科への上乗せ

- ・ 地域の歴史や文化を学ぶ機会を増やすために、社会科と生活科の時間に上乗せを行います。
- ・ 歴代首相8名が居を構えた風光明媚な土地柄であることから、近現代史の学習の中で学べるようにします。また、総合的な学習の時間と結び付けることで、「地域の子」を育てます。

② 裁量的な時間（こどもの資質・能力の育成に特に資する教育活動）

- ・ コミュニケーション能力の醸成のため、異学年交流の時間を取り、動作化したり、体験したりする時間としての有効活用を図ります。
- ・ 探究的な学習として、地域の歴史や文化を学ぶ時間とし、郷土愛の醸成を図ります。

③ 裁量的な時間（教師の組織的な研究活動）

- ・ 勤務年数の浅い職員が多いことから、教科指導や児童・生徒指導に関わるノウハウを共有したり、学年ブロックで研究できる時間に充てることで、「自分の意見をもち、根拠をもってできる」児童・生徒の育成につなげます。
- ・ 様々な支援を要する児童・生徒の情報共有や関連する会議・研修会を実施することで、教職員の資質向上に努めます。

5 開始時期

令和8年4月より開始予定